

平成 25 年 宮城県内の火災概況（速報値※）

（平成 25 年 1 月 1 日から 12 月 31 日まで）

1 出火件数

平成 25 年の総出火件数は 893 件で、前年（845 件）に比べ 48 件（5.68%）増加し、出火率（人口 1 万人当たりの出火件数）は 3.84 で、前年（3.63）に比べ 0.21 ポイント増加となりました。これは、県内で 1 日に約 2.45 件の割合で火災が発生していることとなります。

月・四季別に見ると、3 月の出火件数が 211 件（全体比 23.6%）で最も多くなっています。また、冬から春の空気が乾燥し、暖房器具を使用する機会の多い季節に出火件数の約 65%が集中しています。

表 1 月別出火件数

区分	月別出火件数												総出火件数	出火率	1日当たり出火件数
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
平成25年	67	60	211	88	85	56	55	43	49	41	68	70	893	3.84	2.45
平成24年	67	63	87	96	58	73	56	58	72	69	63	83	845	3.63	2.32
増減件数	0	△ 3	124	△ 8	27	△ 17	△ 1	△ 15	△ 23	△ 28	5	△ 13	48	—	—

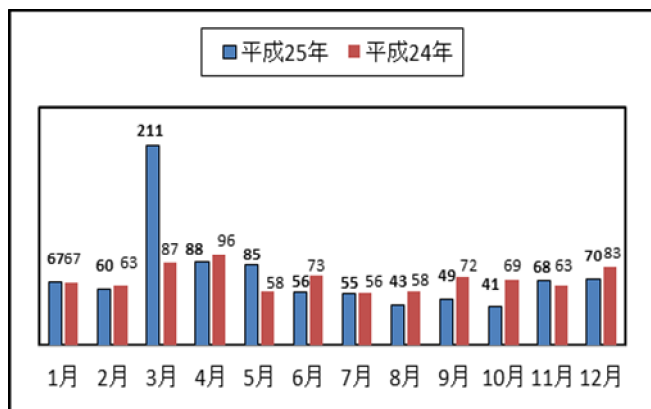
（※出火率：人口 1 万人当たりの出火件数）

表 2 四季別出火件数

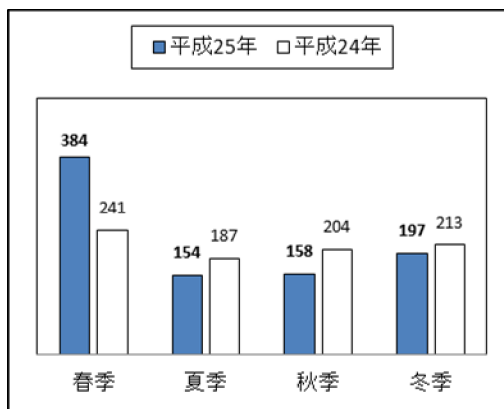
区分	四季別出火件数				合計	
	春季	夏季	秋季	冬季		
平成25年	件数	384	154	158	197	893
	全体比（%）	43	17	18	22	100
平成24年	件数	241	187	204	213	845
	全体比（%）	29	22	24	25	100

春季3～5月，夏季6～8月，秋季9～11月，冬季12～2月

図－1 月別出火件数（平成 25 年・平成 24 年）



図－2 四季別出火件数



※総務省消防庁へ報告された火災情報を集計、確定値は例年 8 月頃に公表されます。

2 火災種別ごとの出火件数

建物火災が 455 件（51.0%）と最も多く、次に、車両火災 93 件（10.4%）、林野火災 58 件（6.5%）と続いています。

表 3 火災種別出火件数

区分		火災種別出火件数						合計
		建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	
平成25年	件数	455	58	93	3	0	284	893
	全体比 (%)	51.0	6.5	10.4	0.3	0.0	31.8	100
平成24年	件数	502	18	79	3	0	243	845
	全体比 (%)	59.4	2.1	9.3	0.4	0.0	28.8	100
増減件数		△ 47	40	14	0	0	41	48

3 出火の原因

出火の原因の第 1 位は「たばこ」の 86 件、以下、「こんろ」と「放火の疑い」の 64 件、「たき火」の 60 件の順となっています。

表 4 出火原因別一覧表

順位	出火原因	件数	火災種別内訳					
			建物	林野	車両	船舶	航空機	その他
1	たばこ	86	46	5	7	0	0	28
2	こんろ	64	62	0	1	0	0	1
2	放火の疑い	64	25	0	5	0	0	34
4	たき火	60	10	11	0	0	0	39
5	放火	59	27	3	5	0	0	24
6	火入れ	55	4	10	0	0	0	41
7	ストーブ	42	42	0	0	0	0	0
8	電灯・電話等の配線	36	17	1	0	0	0	18
9	電気装置	20	12	0	6	0	0	2
10	配線器具	18	17	0	1	0	0	0

4 死傷者

火災による死者は 33 人（うち放火自死者 6 人）で、前年の 48 人（うち放火自死者 12 人）に比べ、15 人減少しました。また、負傷者は 121 人で、前年の 136 人に比べ 15 人減少しました。

5 火災損害額

火災による損害額は、2,076,316 千円で、前年の 1,334,367 千円に比べ、741,949 千円増加しました。